

平成23年3月分

行動しか変わりません。

大リーガーの松井秀喜選手が高校時代感銘した言葉として、「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人間性
が変わる。人間性が変われば人生が変わる」というものがあります。この言葉
で一番大事なのは「行動を変えることではないかと私は思っています。次に「心」です。
行動していれば習慣になり、よい習慣は人間性を高め、人生そのものを変えます。
中学生のキャリア研修として一日研修を受け入れています。子供達にいろいろ質問
します。「お父さん、お母さんは何のために働いているの。」「食うためです」「朝起きたら
お父さん、お母さんに何で挨拶するの。」「おはよう」また就職説明会で学生達に
「何のためにこれか働くの。」「生活のためです」また「何のために挨拶をするの。」
「自分がコミュニケーションをとるためです」と答えます。心がすべて自分に向いて
います。自分中心の考えです。自分中心では行動が習慣になりません。長続き
しないということ。子供達には親は家族のため、会社のため、世の中の役に立つため
に働いていること、挨拶は「おはよう」ではなく、「おはようございます」と言わない。親と
子は友達ではなく、上下関係である。学生には、生活のために働くこと、仕事が苦痛で
ないものがあるよ。仕事をワクワクドキドキしながら楽しくするためには、仕事をする
目的を自分のことではなく、自分以外のことに置くこと頑張れるし、成長もすると話を
しました。挨拶も同じです。挨拶は一日の始まりで人と人との最初の行動
なのに、自分のことだけ思って挨拶していたのでは、相手に伝わらないばかりか
徹底もできません。スーパー成城石井の大久保社長によると、お客様がいつも行く店
を変更する大きな理由は、「店員の感じが悪かった」これが圧倒的に多かった
と、「売上は気にしないでいいから、挨拶を（し）かりするよ」と指導したと売上
があがったと言っています。挨拶を徹底するコツは心を自分に置くのではなく、
相手に置くことです。挨拶は、相手に元気にさせてもらうため、相手に喜んでもらう
ためと定義しています。この定義に従った挨拶をしないと、何度もやり直しをさせ
ます。相手を元気にするために挨拶のしかたを工夫し徹底していきます。挨拶の
目的が明確だから、心が変わるから行動が変わります。行動というコトを起し
ないと変わりません。会社をよい会社にしようとするなら、よい行動をする。
それが習慣になり、人間性を高め、人生まで変えてしまうのは、挨拶と掃除
ではないでしょうか。トイレには女神様がいたり、掃除が緑で結婚相手が
見つかった。掃除を続けていたと輩がよくあった。そういう本もいっぱい出ています。
行動でしか変わりません。理性とか知性は行動の邪魔をする。感性で動く。
人は正しいか正しくないか、損か得かより好きか嫌いかで判断する。感性を磨くため
には素直に存ること、使命感、責任感を持ち、想いを強くすること、今をコトを大事
に生きること。前後裁断。理性、知性は線、感性はつなぐもの。これは点の時代、
感性の時代ということを行徳先生より教わっていた大きかったです。リーダーとして人を動かす
のは知性とか理性ではなく波動です。波動とは気力と気通です。私達は波動
で行動しています。志を高くすれば気力はますます充実します。体力は自信ありません。
3月は卒業式のある月なので、国旗や国歌の由来がうすの経営計画書に書いてある
ので添付します。

古田土 浩